

2年

生活科「ぼくのわたしのわくわくおもちゃ」の学習では、ゴムや風等の動力で動くおもちゃを作り、「どうすればもっとよく動くのか」と友達と相談したり何度も試したりしながら活動に取り組んでいます。



「遠くまで走る『ビュンビュンカー』を作りたい」という強い思いをもって活動を始めたAさんがいました。ところが、いざ作り始めると「うまくできるかな」と表情が曇っていました。すると、その様子に気付いた友達が、次々と集まり、自然と相談会が始まりました。友達のアドバイスを受けながらAさんは段々と自信を取り戻し、うまくいかないときがあっても「次はこうしてみよう！」と自分から改良に挑戦する姿が見られるようになりました。

友達と励まし合い、知恵を出し合いながら取り組む中で、子供たちは自分で考える力や互いを思いやる気持ち、挑戦する気持ちを伸ばしています。2学期も終わりが近付いてきましたが、これからもますます成長していく姿を温かく見守っていきたいと思います。

4年

今年度から始まったマイタイムでは、子供たちが、目当てをもって取り組んでいます。その中でも縄跳びをしている子供たちは「二重跳びが跳べるようになるために毎日練習に取り組む」「長縄跳びで1位を目指すために3分間で400回を跳べるように仲間と協力して取り組む」と目当てを立て、練習を重ねています。どの子供も毎日、跳んだ回数を記録したり、引っかからずに跳ぶための工夫を考えたり、長く跳べるように友達と相談したりと、自分の力で目当てを達成させようと汗だくでがんばっています。その日々の積み重ねによる努力は、「長縄校内予選の突破」や「跳べなかったあや跳びや二重跳びが跳べるようになった」などの結果として表れていると同時に、子供たちを確実に成長させています。「もっとできるようになりたい」という気持ちを胸に、挑戦する姿は本当に素敵です。これからも、4年生一人一人が、自分の目当てに向かって主体的に取り組んでほしいと思います。



5年

5年生は、11月13日と14日の2日間、富山市子どもの村へ宿泊学習に行きました。この宿泊学習でのテーマは「自立」と「協力」でした。たくさんの成長が見られましたが、特に「協力」している素敵な場面を紹介します。2日目の野外炊飯のことです。かまどで火を準備していたとき、すぐに火が大きくなる班となかなか火が大きくならない班がありました。少し様子を見ていると、すぐに火が大きくなった班の1人がさっと駆け寄り「手伝おうか？」と声をかけて手伝っていました。さらに「もう薪を使わないからあげるよ」と自分たちの薪を他の班に分けていました。自分たちの班がうまくいけば、それでよいのではなく、クラスみんなで成功することに喜びを感じていたのではないでしょうか。このような一場面でも、「自分の時間を仲間のために分ける人」「自分たちの薪を仲間に分ける人」など、まさに「協力」を体現する姿に出会うことができました。これからも、自分が満足するのではなく、みんなで高みを目指して、誰かのために力を貸し、協力することができる5年生の姿を期待したいと思います。

